

不正会計問題
社福法人に5人「天下り」

前理事長時、川崎市から

川崎市の社会福祉法人 状況を明らかにした。

「母子育成会」の前理事長 健康福祉局企画課による
が法人の金を私的に流用し と、理事などに就いていた
ていたとされる問題で、2 のは主に局長級の元職員だ
017年4月～23年3月の といひ、同課の担当者は「市
間、法人の理事や監事、評 の出資法人ではないため決
議員を務めた計15人のうち 定のプロセスは不明だが、
5人が、市からの「天下り」 (人数が) 少ないとは言え
だったことがわかった。

24日の市議会本会議で、

また、この日の答弁で、

三宅隆介議員（無所属）の 同法人が市内で運営する特
一般質問に対し、市が、元 別養護老人ホームや保育所
市職員の同法人への再就職 など計8事業所に対し市が
無償で土地を貸し付けてお

り、長い所では28年前から
無償貸し付けが続いている
ことも明らかにした。

同法人を巡っては、監査

の権限が市に移った16年度
以降、市は複数回、監査し
てきたが、前理事長が行っ
たとされる私的流用につい
て、法人が自主調査を行う
まで把握できなかったこと
が問題視されている。